

# もっと知り 「がん」と共に生きる

西日本がん研究機構(West Japan Oncology Group: WJOG)はがん患者を対象とした臨床試験を通してよりよいがん診療の実現を目指し社会貢献活動を行う医師・研究者が主体となったNPO法人です。この度、長崎で初めての市民公開講座を開催することとなりました。3人に1人ががんで亡くなり、2人に1人ががんに罹患する時代です。ぜひこの機会にがんのことをもっと知り生き方を考えてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

日時

2015年8月29日(土)

13:30~16:00  
(開場および受付開始 13:00)

場所

長崎ブリックホール 国際会議場  
(長崎市茂里町2-38)

参加  
無料



本田 琢也

2002年長崎大学医学部卒業  
長崎大学医学部付属病院 第一内科へ入局後、2006年に国立がんセンター中央病院 消化管内科で短期研修を受け、以後は長崎県内で消化器癌化学療法を中心とした診療に従事。  
2010年長崎大学病院消化器内科勤務。  
2012年10月より現職。



福田 実

1965年長崎県生まれ  
1990年長崎大学医学部卒業  
長崎大学第2内科、国立がんセンター中央病院レジデント、川崎医科大学呼吸器内科講師、長崎県立市立長崎病院診療部長、日本赤十字社長崎原簿病院化学療法科部長を経て、2014年より長崎大学病院がん診療センター 副センター長 准教授



岡田 雅彦

昭和53年 長崎市立坂本小学校卒  
昭和56年 長崎市立江平中学校卒  
昭和59年 長崎県立長崎西高等学校卒  
平成2年 長崎大学医学部卒業  
長崎大学小児科医局入局  
田川市立病院  
平成3年 高知県立西南病院  
平成4年 佐世保市立総合病院  
平成5年 長崎大学大学院入学  
平成6年 同卒  
平成10年 長崎大学病院小児科医員  
平成12年 米国NIH/NIAID留学  
平成14年 長崎大学小児科



久光 重貴

フットサルの全国リーグの湘南ベルマーレ選手。高校卒業後、サッカーからフットサルに転向。2008年から湘南ベルマーレに所属。2009年に日本代表に選出。2010年にはチームキャプテンを務める。2013年7月、右上葉肺腺がんステージⅢBが発覚。抗がん剤治療を続けながら、2014年2月に選手として復帰。フットサルリボン活動を立ち上げ、現在全国各地の小児病棟を慰問。肺がん医療向上委員会広報大使。



勝俣 範之

1963年山梨県生まれ。  
1988年富山医科大学医学部卒業  
2011年10月より、20年間務めた国立がん研究センター中央病院を退職し、日本医科大学武蔵小杉病院で、腫瘍内科を立ち上げた。日本でまだ少ないがん薬物療法専門医・腫瘍内科医の一人。がんサバイバー支援にも積極的に取り組んでいて、正しいがん情報の普及を目指して、ブログ、ツイッター、フェイスブックを通じ、情報発信している。近著に「医療否定本の嘘」(扶桑社刊)、「抗がん剤は効かない」の罪(毎日新聞社刊)がある。  
趣味:マラソン、ギター、ピアノ

◎プログラム

| 第I部 | 司会/福田 実、本田 琢也

講演

講演 1 「胃がんをもっと知ろう」  
長崎大学病院 がん診療センター 助教/本田 琢也

講演 2 「肺がんをもっと知ろう」  
長崎大学病院 がん診療センター 准教授/福田 実

講演 3 「小児がんと闘う子どもたち」  
長崎大学病院 小児科 講師/岡田雅彦

講演 4 「がんと生きる」  
湘南ベルマーレ 肺癌学会広報大使/久光 重貴

講演 5 「抗がん剤は効かない」の罪 ~「がん放置療法」は「市民のためのがん治療か」~  
日本大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授/勝俣 範之

活動報告 WJOG 事務局長/中村 慎一郎  
大阪大学医学部卒業。大阪大学、市立池田病院、大阪府立成人病センター呼吸器内科、NTT西日本大阪病院臨床検査部長、臨床研修部長を経て、2006年より特定非営利活動法人西日本がん研究機構事務局長・データセンター長。



| 第II部 | 司会/福田 実

パネルディスカッション 「がん」と共に生きる 講師:本田 琢也、岡田 雅彦、久光 重貴、勝俣 範之

FAX(裏面の申込書)にてお申込み下さい

申込方法

ご希望の方は(複数の場合は各人必要)①住所、②氏名、③年齢、④性別、⑤電話番号(携帯可)⑥ご職業を明記の上、FAX(裏面使用)にてお申し込みください。  
定員(250名)になり次第締め切り、参加者には聴講券を発送します。

お問合せ

TEL 095-829-7707

平日10:00~18:00 (マルクスインターナショナル内)